

謎々。身内が死んだ時だけありがたくて近所にできると迷惑なのは、なんなんだ?

住宅街への葬儀場建設をめぐるトラブルが相次いでいる。そこで、京都市は葬儀場建設に関する指導要項を作成し、業者への行政指導を強化することになった。葬儀場指導要項では「建築確認申請を行った前に市と事前協議する」「住民への説明を尽くし、協定書を締結する」「葬儀場敷地の境界から内側部分に縁地帯を設ける」など。さらには「建築確認申請の27日前までに周囲15メートル以内の住民に対して事前説明を行う」という具体的な規定も設けられるとか。筆者はこの「葬儀場」という存在が不思議でならない。キリスト教なら教会、仏教徒なら寺がある。葬儀は自宅でもできるし、自宅が手狭だったり、宗教色を出したくないなら近所の公民館でも良いのでは?普段は信仰がないのに、いきなり葬式をしなければならないから「葬儀場」や「葬祭業者」に依存するしかないんだ。仏教徒なら普段からもっと寺とのコミュニケーションを密にすれば、慌てなくて済むと思うのだが…。近所にできる葬儀場を忌み嫌う気持ちもわかるが、自分たちの葬儀のあり方も考え直した方が良さそうだ。

## 一番新しい日本の一ページ



悲鳴を聞きつけて通報した隣人の墓穴…。

男女関係や病気、賭け事などの悪習との「悪縁」を断ち切ることができるという安井金毘羅宮に祈願する女性が増えているそうだ。ただ、最近はドメスティックバイオレンス(DV)やストーカーなどの被害を受けている女性も多く、その社会状況を反映している絵なども奉納されるようになったとか。安井金毘羅宮には、ぜひDV被害やストーカー被害の相談窓口を設け、救済の窓口を増やしていただけないだろうか? 今、DVやストーカーに深刻に悩む人に対する救済は運々として進んでおらず、警察や相談窓口の対応の遅さから、傷害事件や殺人事件に至るケースが起っている。「民事不介入」や「プライバシーの侵害」「隣人の無関心」といった、エセ個人主義がはびこっているからだ。それよりも大切なのは隣人への関心ではないだろうか? 隣人と毎日挨拶を交わすだけいい。隣人の存在を常に感じるような環境ができれば、少しこのような犯罪に歯止めが効くと思うのだが。

コンビニやコ-ヒ-ショップ併設  
24h営業はあたりまえ  
「セルフサービス」に「フルサービス」なんて  
ややこしいのも…。



ガソリン高騰

## 滋賀県で給油すると約10円/Lも得!! 地域格差が著しいガソリン価格

中東情勢悪化による原油価格高騰にともない、ガソリン値上がり止まらない。ここで興味を持っていただきたいのが、ガソリン価格の地域格差。そして、全国的に見てもガソリンの平均価格が安いのが、実は京都のお隣、滋賀県なのである。石油情報センターの調査でも滋賀県は常に西日本で唯一安価トップクラスにランクイン。その理由は、滋賀には工場や倉庫が多く、物流の拠点になっていることと、マイカー所有率が高く、車社会のインフラが整っていることが考えられる。'05年8月現在、京都市と大津市では最大12円/リットルの差があり、京滋で一番高値である舞鶴と比較すればなんと最大15円以上も安い! 特に大津を中心とした国道沿いでは人件費を削減してコストダウンをはかるセルフサービスの店が増えており、併設施設なども含めさらに熾烈な価格競争が繰り広げられそうな予感だ。この秋、「レジャーに出かけるのなら、日本海より琵琶湖に行って燃費を節約」という人が増えるかも。

## イラスト◎両口 和史

1967年京都市生まれ。京都精華大学美術学部卒業。北山のオフィスにて様々なキャラクター・イラスト制作をおこなうユニット「キャトル・イラストレーション」のチーフ。猫、フランス車、家具、雑貨、レコード、本、おもちゃ、平日の公園。それらがイラストを構成するエッセンスである。HP●http://www.d1.dion.ne.jp/ryoguchi



文○大塚 祐希

京都で活動するライター集団・大塚祐希事務所CEO。昨年のイスラエル滞在以来、異文化を紹介するTEXSTREAM PROJECTを始動。20カ国に及ぶ人々とネットワークを構築し、ボーダレスな活躍を目論む。  
HP●http://www1.ocn.ne.jp/~tsukapon/



イラスト◎両口 和史